

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年10月16日	
		作成部署	土木建築部道路総括室 道路建設室、道路計画室	
事業名	一般道 郷ノ口余部線道路新設改良事業 都市計画道路 宇津根新国道線街路整備事業	構想番号	構-18-4	
		地区名	亀岡市宇津根町～大井町	
概算事業費	道路事業 約25億円 街路事業 約17億円	事業期間	平成4年度～平成21年度	
事業概要	幅員狭小区間解消のため、バイパスにより道路改良を実施する。 道路事業：延長580m、幅員6.5(12.0)m(車道2車線、片側歩道) 街路事業：延長725m、幅員6.0(16.0)m(車道2車線、両側歩道)			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・現道は幅員が狭く、歩行者や自転車との交錯により、自動車の走行に速度低下をきたしているため、これらを改善させることによりCO ₂ を減少させる必要がある。	・自動車交通が円滑化され、他の輸送機関からの転換等による自動車交通総量の大きな増加要因も想定されないことから、周辺地域における自動車からのCO ₂ 総排出量の削減が見込まれる。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・現道は幅員が狭く、歩行者や自転車との交錯により自動車の速度低下が生じ、排気ガスの排出が増加する等、沿線の生活環境に悪影響を及ぼしているため、当該地域周辺での排出量の削減を図る。 ・計画路線の一部は人家連担地を通過するため、騒音等沿線に与える影響を抑制する必要がある。	・自動車交通の円滑化により、沿道における排気ガスの悪影響が改善される。 ・バイパス完成後は、現道の大型車通行を規制して人家連担部における騒音、振動を抑制し良好な生活環境を創出する。また、バイパス部の住居周辺では、排水性舗装の使用により、沿線に与える騒音の影響を抑制する。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行事 地域住民との協働 など	・建設予定地の周辺は、平坦な田園地域であるため、工作物による景観への影響を極力避ける必要がある。	・今後施工する道路法面に在来種を使用することにより、周辺景観との調和を図る。	△
地域の環境像	本事業は、桂川左岸と国道9号を結ぶ道路の新設工事で、本地域の自然環境や景観を維持するとともに、大気環境の改善措置を行う。			
特記事項	なし			